

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年 2月 24日				
発達サポートハートリハ龍郷						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		事前の情報から想定し、使用の可能性がある教員教材は機関側に準備してもらうか、こちらから持参するように心掛けている	機関側の準備できる教員教材に限りがある為、教員教材を固定化せず代替品の提案ができるように準備する
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児発管を持ったセラピストを中心に理学療法士2名で対応していて、希望人数にも対応できている	希望人数が増えた際に対応できるように計画的に日程調整する
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・ 振り返りや申し送りのミーティングにて情報共有 ・ 機関と事業所にて課題の共有	機関の様子と事業所の様子のギャップを受け入れながら療育支援を行う
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年1回実施し、保護者や職員の意向を踏まえ、業務改善に努めている	入職した職員にも周知できるよう面談や研修にて共有していく
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・ 年に2回個別面談を実施 ・ 職員から相談や意見がある場合には、その都度、面談を実施	職員から意見や相談しやすい雰囲気作り
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価非実施	外部による評価企画の検討（日程や依頼先など）が必要
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に研修を実施	・ 事業所内での研修を定期的に実施 ・ 外部研修への参加を促す体制作り
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		・ 各利用児に合わせてニーズや課題を抽出している ・ 本人や保護者の困り感を聞き出し、支援計画に反映している	今後は、全利用児に対する家族支援を定期的に実施し、ニーズや課題をしっかりと把握できるように工夫する
	9	保育所等訪問支援計画を作成するには、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援会議を実施	どの職員も提案や発言しやすい会議の雰囲気作り
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		初回介入前に連絡を取り、訪問先の担当者のニーズや目標を確認	設定した目標をクリアした際にフィードバックの時間に次の機関側の目標を確認する
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画に沿った支援が行えるように、各利用児の課題やニーズをミーティングの場で提言している	理解度を高めるために日々の申し送りや振り返りの際にも支援計画の話題を持ち出す
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		フェイスシートやアセスメントシートの作成	年度初めにフェイスシートやアセスメントシートの更新が出来るように心掛ける
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドライン項目を確認しながら、支援計画の作成を行っている	・ 支援計画書に記入する際、具体的に記入するよう心掛ける ・ ガイドラインの項目を全スタッフが認識できるように研修の開催を検討する
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画に沿った支援が行えるように、各利用児の課題やニーズをミーティングの場で提言している	理解度を高めるために日々の申し送りや振り返りの際にも支援計画の話題を持ち出す
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		申し送りの時間を設定	多職種連携を図る時には、個々の役割を担うように確認する
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		振り返りの時間を設定している	振り返りの時間に担当職員が様子や情報を共有する
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		初回介入前に連絡を取り、訪問先の理念や支援手法を確認している	機関側の理念や支援手法を理解した上で介入する

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		担当訪問支援員が記録する	振り返りの時間に記録に沿ってミーティングを進める
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に保護者の困り感を確認するとともに、保護者を通じて訪問先の困り感を確認している	本人や保護者、訪問先の困り感が強い時には、すぐに対応できるように訪問先と情報共有できる体制を整える
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		基本、管理者や児発管の資格を持った職員が参加している	事前に個別支援会議で情報を収集し、担当者会議に参加する
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて行政や関係機関と連携	相談員に確認し、関係機関と連携できるように努めている
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・移行支援シートを活用 ・行政への情報提供	・移行支援シートを作成し、情報共有している ・相談員や保護者を通じて、教育委員会等の行政への情報提供を行っている
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		地域会議に参加	協議会や子供部会、支援ネット等の会議や研修に参加して情報を得ている
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		管理者、児発管が参加	協議会や子供部会には、管理者もしくは児発管が予定を調整し、極力参加できる体制を整えている
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時に情報共有 ・電話やLINEを活用	送迎時での情報共有に加え、電話やLINEにて活動の様子や内容を共有している
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		個別で必要とする支援を保護者と共有し、自宅で実践してもらう	保護者の困り感を聞き取り、自宅にて行える内容の支援や運動、アプローチを提供している
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約書に記載し、契約時に説明している	保護者が理解しやすい言葉選び
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		初回介入前に事業の趣旨や訪問支援の目的等を訪問先の責任者と担当者に説明している	事業の趣旨が伝わりやすい言葉選び
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		担当者会議や送迎時といった保護者と直接お話しできる時に確認している	本人の意向も尊重する
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		確認してもらったうえでの同意をお願いしている	保育所等訪問支援の計画内容を具体的に提示する
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		・相談窓口を設置している ・必要に応じて家族支援を実施	・電話やLINEにての相談や来所による相談に対応している ・定期的な家族支援を行える体制作りを行い、全保護者に対する相談支援を行えるように検討していきたい
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	・保護者会や父母の会を開催できていないが、保護者の見学を随時、受け入れている ・祝日や長期休みの際には、兄弟児も体験として利用してもらっている	保護者同士の連携を図るための場を提供できる保護者会開催を検討する
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者、利用児の相談や申し入れは相談窓口の担当が対応	相談や申し入れがあった際には、相談窓口の担当が保護者から情報収集した上で対応し、必要に応じてスタッフ間でも情報共有している
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	LINEやフェイスブックの活用	ホームページも活用し、広く情報発信する
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・写真使用時、保護者へ確認 ・鍵付きカルテ棚 ・契約時に個人情報について説明し、同意を得ている	顔付きの写真を使用する際には、使用目的を保護者へ説明し、同意を得る
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・文字にて残せるようにLINEを活用している ・仕草や口の動きに留意	コミュニケーションを図る際に、表情や口の動き、仕草に注意する

訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		送迎時に情報共有し、支援方法を共有できる体制を整えている	保育所等訪問の相談担当を選定している
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		事前連絡を行う時に振り返りの時間を確保してもらうようお願いしている	機関の担当者の参加が難しい時には機関側の都合に合わせ、柔軟な対応
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		・送迎時に情報共有 ・電話やLINEを活用 ・必要に応じて家族支援を行い伝達	LINEにて活動の様子や内容を共有している
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・写真使用時、保護者へ確認 ・鍵付きカルテ棚 ・契約時に個人情報について説明し、同意を得ている	顔付きの写真を使用する際には、使用目的を保護者へ説明し、同意を得る
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		送迎時に情報共有し、支援方法を共有できる体制を整えている	電話や送迎時に相談を受けた際、担当職員が機関に入電し、困り感に合わせて助言したり、訪問介入を計画する
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアル策定済み	各マニュアルを保護者に周知できるよう工夫が必要
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・避難訓練の実施（職員のみ） ・マニュアル作成、研修会の実施	利用児参加型の避難訓練実施を検討していく
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットのファイルにて共有	申し送りにてヒヤリハットの報告を行い、全職員で対応策を検討し、ファイルに綴っている
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・厚労省主催の研修を受講 ・委員会の設置 ・事例の共有実施	県主催の虐待防止、権利擁護の研修を受講した職員を中心に研修を実施
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・委員会の設置 ・記録の作成	・事前に保護者を含めた関係機関と協議し、説明した上で同意を得て実施している ・契約書にも記載しており、経過観察記録も作成している